

教科	科目	学年	単位数	使用教科書	主な使用補助教材
国語	論理国語	2	2	精選論理国語（東京書籍）	現代文単語げんたん(いいずな書店) 小説速読トレーニング（数研出版） 評論速読トレーニング（数研出版）

1 科目の目標と評価の観点

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
評価の 観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画と観点別評価基準

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
読む ミロのヴィーナス	1 学期 （ 2 4 ）	・読書の意義について筆者の主張を読み取り，自分に引き寄せて考える。 ・具体例に注目して筆者の主張を理解し，芸術の見方について考える。 ・書かれている内容を理解し，「論理的」とはどういうことかを学ぶ。 ・具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み，言語と自我の構造について考える。 ・本文中の二つの課題を追体験して読み，科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。	・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において，人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。	・粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ，今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて，「読書」について自分の意見をまとめ，発表しようとしている。 ・進んで芸術における具体と抽象の関係性や，筆者の論の進め方を捉え，学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる，芸術に対する見方を深めようとしている。 ・進んで演繹的な推論について理解し，学習課題に沿って広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとしている。 ・積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し，学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ，他者に伝えようとしている。 ・進んで中心的主張と事例の関
読む 論理とは何か					
読む 相手依存の自己規定					
読む 科学的「発見」とは					
書く 資料を整理し，テーマを吟味する		・資料を集めてさまざまな観点から整理し，テーマを吟味する。	・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。	・「書くこと」において，実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について，書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集，整理して，目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 ・「書くこと」において，多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にしている。 ・「書くこと」において，個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど，文章全体の論理の明晰さを確かめ，自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。	積極的に探究学習における資料の収集・整理の方法を理解し，学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し，適切なテーマを設定しようとしている。
定期考査	2				

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
読む 分人とは何か	2 学期 (2 4)	・提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。 ・挙げられている事例と筆者の分析の関係に注意して読み、人間関係の在り方について考えを深める。 ・対比に注意して論の展開をつかみ、「リスク」という概念について理解を深める。 ・「環世界」などの概念に注意しながら筆者の主張を理解し、環境について理解を深める。	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで本文中の複数の問いと具体例の配置に着目しながら、筆者独自の造語に基づく主張を読み取り、今までの学習を生かして「分人」という観点から自分とその人間関係について考えを深めようとしている。 ・粘り強く筆者の論じる社会の変化と人間関係の分析を理解し、学習課題に沿って人間関係を論じる二つの文章の共通点・相違点を考察して、人間関係の在り方について自分の考えを深めようとしている。 ・積極的にベックとルーマンの各記述から中心的主張を捉えて要約し、学習課題に沿って現代における「リスク」について具体的に考え、話し合おうとしている。
読む メディアの変容					
読む 「リスク」と「リスク社会」					
読む 「環境」とは何か					
書く 仮説を立てて検証する		・仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめる。 ・統計資料をもとに地方都市の在り方を論じた文章を読み、説得力のある根拠の示し方を理解する。	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。	・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。	・積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、学習の見通しをもって情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとしている。 ・進んで統計資料に基づく反証の方法を理解し、今までの学習を生かして説得力のある根拠の示し方や建設的な反論について、考えを深めようとしている。
書く 地方都市を考える					
定期考査	2				
読む 「である」ことと「する」こと	3 学期 (1 7)	・例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会における人間の在り方について考える。 ・筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。 ・図を適切に参照して本文中の対比を捉え、日本と西欧の美意識の違いを理解する。 ・提示されている地図に注目して論の展開を押さえ、地図に対する筆者の考えを読み取る。	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。	・粘り強く二項対立の論理展開や具体例と筆者の主張との関係をつかみ、今までの学習を生かして「である」価値と「する」価値について自分に引き寄せて考え、現代社会に対する認識を深めようとしている。 ・積極的にスポーツとメディアという社会事象の分析を通した筆者の主張を読み取り、学習課題に沿ってスポーツについて具体例を挙げながら、自分の考えをまとめようとしている。 ・粘り強く二項対立の論理展開を資料と結びつけて理解し、学習の見通しをもって日本人の美意識と生活行動の関連性について、自分の考えを深めようとしている。 ・進んで近代的思考による科学主義的な地図観に反駁する筆者の立場とその論理展開を理解し、学習課題に沿って身近な地図から描き手の目的や意図とその工夫を読み解き、自分の考えを述べようとしている。
読む 消費されるスポーツ					
読む 日本人の美意識					
読む 地図の想像力					
定期考査	1				